



新年のご挨拶

皆さま明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

平成最後のお正月、皆さま有意義に過ごされましたでしょうか。

冒頭から昨年のお話で恐縮ですが、平成 30 年の漢字は「災」でした。西日本豪雨や胆振東部地震など、記憶に新しいところです。歴史上、残念ながら災害のない年というものはありません。

しかし、災害に強い年を作っていくことは、できるのではないのでしょうか。平成 23 年の漢字は「絆」でした。災害をきっかけにできた絆を、次の災害に向けてどのように活かせるのか。平成最後のこの年、平成最大の災害からの問いかけのように感じてなりません。

今年も一年、災害の少ない年でありますように。

方部課長 松田聡一郎

事務所移転のお知らせ

この度、当方部センターは 2018 年 2 月 1 日付で事業所が新しくなる運びになりました。

当紙面を持ちましてご案内に代させていただきます。尚、電話・FAX 番号の変更はございません。

被災者の皆様が安定した生活を送ることができるよう、職員一同、今後とも精進してまいります。

新事業所

〒960-8018

福島市松木町 9-11

松木町共栄ビル 1 階



尚、1 月 30 日(水)は電話工事のため時間帯によっては
電話、FAX が繋がらないことがありますので、ご了承ください。

活動紹介

関係者連携会議

11 月 15 日、郡山市労働福祉会館にて「関係者連携会議」が開催されました。昨年までは「方部連絡調整会議」と称していたこの会議ですが、関係者の皆さまとの連携をより深めることを意図し、今年より名称を変更しました。60 名を超える方に県内外からお集まりいただき、各地域ごとのグループワークに参加していただきました。県北方部センターのテーマは「県北に生活基盤を置く、避難者の潜在ニーズと生活支援」と題して、活発な議論が交わされました。今後も皆さんからのご意見をうかがいながら、連携に根差した活動を進めていきたいと思ひます。

ホッとサロン「てとて」

福島市社会福祉協議会で月に一度（主に第 4 水曜）に行なわれているホッとサロン「てとて」に、我々も毎回血圧測定や個別の相談という形で協力参加しています。これは、福島市内に避難されている方を対象に行なわれているサロンで、12 月は「ビーンズふくしま」によるハンドベル演奏、1 月は新春落語と毎回バラエティに富んだ内容で開催されています。

多くの市町村からの参加者がありますが、市町村を越えて新たに友人を見つけられる方も多く、まさしくホッとなるサロンとなっています。



発達障害

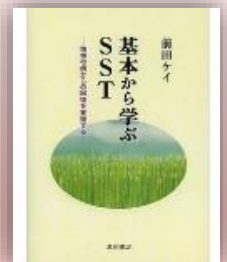
平成 30 年 11 月 13 日に、社会福祉法人聖母愛真会児童発達支援センターこじか「子どもの家」副園長佐々木景先生のもとで研修を受講しました。研修のテーマは「保護者が望んでいる支援に向けた関係者の役割と連携」でした。



発達が気になる子どもの子育てにおいて、保護者は子どもとの関係を築くことに困難さを感じています。そして保護者は様々な情報が氾濫している中で、「不安」を抱えながら子育てをしています。その一方で子どもたちもレベルの高い教育や療育が受けられる社会の中で、自分に対する肯定的な意識が低い子どもに成長していることがあります。そのため発達が気になる子どもの支援は発達支援と保護者支援の両輪で進めていく必要があります。子育てをする保護者には安心と信頼を寄せられる「ひと」「場所」が重要です。そのため私たちも関係機関の皆様と協力しながら、保護者が自信を持って子育てできるよう活動していきたいと思えます。

SST（ソーシャル・スキルズ・トレーニング）

人との関わりが苦手で自分の考えや気持ちをうまく伝えられない人がいます。「もっとうまくできたらいいな」「こういう時、どう対応したらいいのだろう」。社会生活の中でうまく人と関わり、よりよい人間関係をつくる技能を身に付けるトレーニングが SST です。社会生活技能訓練、対人スキル訓練ともいいますが、一般的な訓練とは少し意味が違います。訓練というと辛いリハビリなどがイメージされますが、SST では本人に無理強いはいしません。例えば、「お金を貸して」と言われ、本当は貸したくないのに断りづらい。こういう時はどう対応したらよいか。本人と支援者が一緒に考え、その場面を想定して実際に練習する。SST は、本人が生活の中で希望し必要とする「ものの考え方」と「行動のとり方」を学ぶ方法です。先日、11 月 3～4 日の 2 日間にかけて SST の第一人者である前田ケイ先生の研修に参加する機会があり、それぞれの職場で SST を実施している支援者の実演を見ることができました。私も SST を学び、支援に活かしたいと思いました。



ダイエット番長松田の牛丼日記

みなさんこんにちは、方部課長の松田聡一郎こと【ダイエット番長松田】です。実は私、一昨年から糖質制限ダイエット中です。そこで味方になってくれるのが、すき屋の「牛丼ライト」。豆腐サラダの上に牛丼の具が乗っかっているだけです。糖質は 16g と非常にヘルシーです。ポン酢がかかっているのですが、「ポン酢少なめ！」と注文します。酸っぱいのが苦手なのです。



そんなある日、外国人のバイトさんが注文を取りに来てくれました。国際派である私は、「牛丼 light」と余裕のオーダー。しかし「ポン酢少なめ！」を日本語で言ってしまうという痛恨のミスをしてしまったのです。でも、すぐ気を取り直して「牛丼 light」を口に運んだところ、いつものあの味が口の中に広がります。国際交流は言葉ではなく気持ちなのだのと、改めて感じさせられました。いつか「Could I have less Ponzu?」と言える日を夢見て。すき屋 4 号福島松浪店の皆さん、ごちそうさまでした！

★問い合わせ先 発行元



(一社) 福島県精神保健福祉協会 ふくしま心のケアセンター県北方部センター
【2018 年 1 月 31 日(木)まで】 旧事務所：福島市旭町 9-24
【2018 年 2 月 1 日(金)より】 新事務所：福島市松木町 9-11 松木町共栄ビル 1F
電話番号 (024-533-4161)
★電話での相談 ふくこライン 024-925-8322